

京都ミュージアム連携による博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進事業 【小規模ミュージアムのDX推進に関するレポート】

KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会
(事務局：京都府文化生活部文化政策室)

令和8年6月

目次

0. 本レポートについて	p.03	3. <u>文化遺産オンライン登録の概要</u>	
1. <u>本プロジェクトの概要</u>		(1) 研修の概要	p.138
(1) 本事業の取組方針	p.05	(2) 登録作業の結果	p.140
(2) 業務遂行体制	p.07	4. <u>全体研修の概要</u>	
(3) 全体スケジュール	p.08	(1) 実施概要	p.142
2. <u>現地調査・実地研修・撮影の概要 (11施設)</u>		(2) 各講義概要	p.145
(1) <u>全施設共通事項</u>	p.10	(3) ワークショップ概要	p.147
(2) <u>京都府立丹後郷土資料館</u>	p.25	(4) 参加者およびアンケート結果	p.148
(3) <u>大山崎町歴史資料館</u>	p.38	5. <u>データ利活用プランの提言</u>	
(4) <u>向日市文化資料館</u>	p.48	(1) 利活用プラン検討の概要	p.160
(5) <u>与謝野町立江山文庫</u>	p.59	(2) 利活用プラン案	p.161
(6) <u>与謝野町立古墳公園はにわ資料館</u>	p.68	6. <u>次年度以降の方向性について</u>	
(7) <u>舞鶴市立赤れんが博物館</u>	p.77	(1) 本事業で見えてきた課題	p.165
(8) <u>舞鶴市郷土資料館</u>	p.88	(2) 今後に向けた方向性	p.168
(9) <u>京都府立堂本印象美術館</u>	p.99	本事業の成果 (数値) ※頁再掲	
(10) <u>亀岡市文化資料館</u>	p.111	(1) <u>全11施設の資料デジタル化</u>	p.136
(11) <u>京丹後市立郷土資料館</u>	p.121	(2) <u>デジタル資料の公開</u>	p.140
(12) <u>京丹後市立丹後古代の里資料館</u>	p.123		

本レポートの制作にあたり

本レポートは、「京都ミュージアム連携による博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進業務」の受託事業者である大日本印刷株式会社（以下、DNP）が作成した成果物をKYOTO 地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会※が公開用に加筆・整理したものの。

小規模ミュージアムと行政が「0からデジタルアーカイブに取り組んだ記録」。

- 1 本プロジェクトにおける研修や各参加施設での撮影、デジタル化の取組についての記録
- 2 参加施設が実施した取組内容やノウハウ、課題をありのままに記載、撮影に関する機材等の仕様やセッティング、工夫についても可能なかぎりわかりやすく記載。
- 3 事務局（京都府文化生活部文化政策室）、事業者、各参加施設、有識者が協議を行い、DX推進に係る方向性や活用の提案を盛り込む。

※KYOTO 地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会

京都府ミュージアムフォーラムの地域連携プログラムを実施するため、京都府立丹後郷土資料館を中心とし、各地域のミュージアムで構成する実行委員会。

事務局は、京都府文化生活部文化政策室が担う。京都連携デジタルアーカイブ事業では、「一館でも多く、一点でも多く」を合言葉に資料デジタル化・公開・活用実践に取り組む。